

令和 2 年度 決算

普通会計 決算認定特別委員会 説明資料

教 育 委 員 会

目 次

I	令和2年度教育委員会主要施策の成果の概要	1
II	主要事業の内容及び成果	7
III	歳入歳出決算額	2 1
1	一般会計決算額	2 1
	(1) 歳入決算額	2 1
	(2) 歳出決算額	2 2
2	特別会計決算額	2 3
	(1) 歳入決算額	2 3
	(2) 歳出決算額	2 3

I 令和2年度教育委員会主要施策の成果の概要

〈徳島教育大綱（令和元年度～令和4年度）の基本目標〉

『未知の世界に果敢に挑戦する、夢と志あふれる人財の育成』

1 未知への挑戦！未来を創る教育の推進

（教育政策課，教育創生課，学校教育課，グローバル・文化教育課，特別支援教育課，総合教育センター）

（1）持続可能な社会を具現化する「徳島ならではの」教育の推進

成年年齢引下げを見据えた消費者教育やエシカル消費の普及・啓発など，全国をリードする先駆的な取組みを更に充実させた。

特に，全国のエシカル消費推進に取り組む高校生等がその取組みを発表する「エシカル甲子園」を開催するなど，新次元の消費者教育を推進した。

また，小規模化する学校を存続させ，教育の質を保障する徳島モデルの小中一貫教育である，「チェーンスクール」「パッケージスクール」の全県展開を図るとともに，二地域居住や地方移住を促進するため，地方と都市の学校間移動を容易にする「デュアルスクール」を推進した。

さらに，人口減少が急速に進む地域の高校において，その魅力化や活性化を通じて地域の新たな活力を創出するため，豊かな地域資源を活かした教育プログラムを展開し，地元はもとより県内外から生徒が集う学校づくりを進めた。

（2）「Society5.0」をリードする資質や能力の育成

小規模化が進む高校において，多様な教育活動を展開するため，生徒の学習ニーズに応じた遠隔授業の実施体制を構築した。

また，教育ビッグデータの分析・活用方法について検証するとともに，生徒の理解を深める授業を実践するため，学校におけるICT環境の充実を図った。

さらに，第4次産業革命時代の未来社会で活躍できる人材を育成するため，学習段階に応じたプログラミング教育の実施に向けて調査研究を行うとともに，教職員の指導力向上を図った。

加えて，新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う学校の臨時休業期間中の児童生徒の学びを保障するため，家庭学習応援動画の作成・配信，平時・有事を問わないシームレスな学習環境の整備に向けたモデル校での実証事業，国のGIGAスクール構想の前倒しに対

応した県立学校児童生徒に対する1人1台端末の整備を行った。

(3) 世界に羽ばたく「グローバル人財」の育成

小学生から高校生まで、全ての英語学習段階において、外国人との交流や体験活動の機会を提供するとともに、英語4技能型テストのモデル校での実施などを通して、PDCAサイクルに基づく授業改善を進め、外国語教育の更なる充実を図った。

加えて、「国際科学オリンピック」に関する講習会の開催や、「科学の甲子園」の開催周知、「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）」における研究成果の普及に取り組んだ。

2 夢と志を実現！確かな学びを育む教育の推進

(教育創生課，学校教育課，特別支援教育課，人権教育課，体育学校安全課，生涯学習課)

(1) 真の知性を育む「深い学び」の実現

地域の未来を担う人材を育成するため、高大連携教育及び地域、産業界との連携による6次産業化教育を推進するとともに、農業教育を行っている高校が主となり、工業・商業科設置校や地域の企業・農業団体等と連携し、徳島ならではの6次産業化商品の開発を目標に実践的な取り組みを行った。

また、各学校における地域との連携・協働等を促すため、高校において教育の質の向上や魅力化に地域とともに取り組む体制づくりを推進した。

さらに、高等学校での「探究活動」を中心とした「深い学び」の実現により、未来の徳島を牽引していく人材を育成した。

(2) 将来を描き、可能性を最大化する教育の推進

将来の地域を支え、持続可能な社会の創り手となる人財を育成するため、家庭や地域、経済団体等と連携した取り組みを推進するとともに、児童生徒のキャリアプランニング能力を育成する「キャリア教育」を展開した。

また、全ての特別支援学校において、社会的・職業的自立に向けた「キャリア教育」を実施するとともに、テレワークによる就業体験を推進し、重度障がいや発達障がいのある生徒の社会的・職業的自立に向けた新たな就労モデルを構築した。

さらに、選挙権年齢や成年年齢の引下げを踏まえ、成人として自分らしく自立し、責任を担い協働できる若者を育成するため、生徒の積極的な社会参加を推進した。

加えて、幼児教育の中核となる、「保育・幼児教育センター」を中心に、アドバイザー派遣や実践的な研修を実施し、保育者の資質

向上と施設の教育・保育の質の向上を図った。

(3) 成長を支える「豊かな心、健やかな体」の育成

全ての人の人権が尊重される社会の実現に向けて、学校の教育活動全体を通じた人権教育の推進や、子どもたちの命を守り抜くため、命や心に関する主体的な学びの充実を図るとともに、道徳教育の充実を図るため、教員研修の実施、学校への講師派遣等による指導方法の改善に取り組んだ。

また、地域人材による多様な学びや体験活動の機会を提供するなど、学校・家庭・地域が連携し、地域全体で子どもたちの成長を支えていく取組みを推進した。

さらに、「第四次子どもの読書活動推進計画」の着実な推進を図るため、子どもから大人まで全ての人が読書に親しむことができる機会の提供や、発達段階に応じた読書習慣の形成に取り組んだ。

加えて、家庭や地域と連携し、体力・運動能力の向上を図り、運動習慣や望ましい生活習慣確立のため、喫煙、飲酒、薬物乱用防止、生活習慣病予防に対する正しい知識を身に付け、理解を深めることのできる機会の充実を図るとともに、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができるよう、学校・家庭・地域が連携した「徳島ならではの」魅力ある食育を推進した。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う学校の臨時休業に対し、食の安全・安心を支える学校給食の供給体制の維持を図った。

3 一人ひとりが輝く！多様性を育む教育の推進

(グローバル・文化教育課, 特別支援教育課, 人権教育課, 生涯学習課)

(1) 個性が輝き、一人ひとりが活躍できる「特別支援教育」の推進

発達障がいを含めた全ての子どもたちが主体的に適切な行動を学ぶ「ポジティブな行動支援」を軸として、学齢期を通じた切れ目ない「キャリア教育」を展開するとともに、早期から一人一人の適性を見いだし、伸ばすことで、将来の社会的・職業的自立をめざした教育を推進した。

また、障がいの種別や程度に関わらず、学齢期を通じて、文化・芸術・スポーツに親しみ、楽しむ機会を増やし、生涯にわたって、一人一人が個性や能力を発揮しながら、生活を豊かにすることのできる教育を推進した。

さらに、全ての学校(園)において、特別な支援を要する幼児児童生徒が適切な支援・指導を受けられるよう、通常の学級をはじめ、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校等の「多様な学びの場」を担う教員の専門性を強化した。

(2) 互いに尊重し、支え合う教育の推進

教職員のキャリアステージや新たな人権課題に対応した研修の推進、人権教育研究指定校での成果の普及、人権教育指導者用手引書の活用促進により、差別解消と人権尊重社会の実現をめざし、教育活動全体を通じて、「徳島県人権教育推進方針」に基づいた人権教育の充実を図った。

また、いじめや不登校、虐待など、子どもたちを取り巻く環境が複雑化・多様化する中、スクールカウンセラー等の専門家や関係機関との連携による教育相談・支援体制の充実による生徒指導ネットワーク体制を構築し、子どもたちが安心して学べる環境を実現した。

さらに、子どもたちの様々な悩みに対応するため、SNSを活用した双方向での相談窓口を開設し、有効な教育相談体制の構築に向けた実証研究を行った。

(3) 共に生きる、「多様な力」を育む教育の推進

国際理解教育の活性化とその一層の充実を図るため、民間団体等との協働により、日本語教育のスキルを持つ人材を活用し、日本語指導が必要な児童生徒に対する支援や国際理解教育活動等における教員への支援を行った。

4 誰もがいきいき！生涯を通じ、安心して学ぶ教育の推進

(教育政策課, 施設整備課, 教職員課, 福利厚生課, 教育創生課, 学校教育課, 体育学校安全課, 生涯学習課)

(1) 生涯を通じた「豊かな学び」の創出

全ての教育の基盤となる家庭教育に安心して取り組めるよう、関連する情報の提供や、保護者相互の交流・研修の実施、相談対応の充実等により、切れ目のない家庭教育支援を実現した。

また、社会教育を軸とした地域の教育力向上と地域活性化を図るための社会教育プラットフォームを構築するため、講習会の開催による人材育成、実践者のスキルアップや、多様な主体との連携の機会を提供した。

また、全国初の県立の夜間中学である「しらさぎ中学校」の令和3年度開校に向け、施設整備等を行った。

(2) とくしまの未来を守る「防災教育」の推進

南海トラフ巨大地震等の自然災害等に備え、地域防災の担い手となる人材を計画的に育成するため、児童生徒の発達段階に応じた防災教育の推進や、中・高校生及び教員の「防災士」資格取得の支援を推進するとともに、中学校、高校の「防災クラブ」が自主的な活

動を行う体制づくりを進め、地域に根ざした積極的な防災活動を展開した。

また、児童生徒が安全・安心に学ぶことができる教育環境を確保するため、「県立学校施設長寿命化計画」に基づき、県立学校施設を長く賢く使えるよう整備した。

さらに、避難所となる学校体育館への空調設備導入を推進するため、県立学校をモデル校として選定し、平時と災害時のシームレスな利用や持続可能な施設管理が行えるよう、最適な空調方式を決定する「快適避難所空調設置モデル」の確立を目指した。

加えて、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、県立学校等への衛生用品の配備、緊急的な空調整備を行った。

(3) すべての子どもが学び、成長する教育環境の充実

全ての教職員が主体的に学び、自己を高め、学校目標を達成できるよう、教員育成指標を踏まえたキャリアステージに応じた体系的な研修の実施や心身の健康保持・増進を図った。

また、学校における働き方改革を推進するため、県内全ての公立小中学校に「統合型校務支援システム」を含む「学校業務支援システム」を導入するとともに、教員がより児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制の整備や部活動の活性化を図るため、外部人材の活用を推進した。

さらに、「地域とともにある学校づくり」の実現のため、「学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）」の導入を推進するとともに、放課後等の多様な学びや体験活動など、地域人材の参画による学校教育活動支援や地域と学校が連携・協働した多様な取組みにより、地域総ぐるみの教育を実現し、地域の教育力向上や活性化を図った。

加えて、臨時休業中の未指導分の補習の実施等、児童生徒の学びをサポートするため、学習指導員を配置するとともに、非常勤講師の年間勤務時間数を追加で確保した。

5 世界へ飛躍！「徳島ならではの」文化・スポーツレガシーを創出する教育の推進

(グローバル・文化教育課, 体育学校安全課)

(1) レガシーを創出「躍動スポーツとくしま」づくり

令和4年度「全国高等学校総合体育大会」開催に向け、専門部会等を設立し、大会運営の準備を行った。

また、全国高等学校総合体育大会や各種全国大会での上位入賞をめざすため、強化校を指定し、集中的に高校生の競技力向上を図るとともに、優秀な中学生を継続して育成するため、中・高の連携を密にし、合同練習会を実施した。

さらに、小・中学生世代から将来性のある選手の発掘や運動部活動の活性化、新たな可能性を秘めた有望競技の育成を進め、競技力の底上げを図った。

加えて、オリンピック・パラリンピックを通じて、児童生徒がスポーツの意義や地域の文化、共生社会について学ぶ機会とするため、オリンピック・パラリンピック教育を全県的に推進した。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止となった運動部活動の全国大会等の代替となる地方大会を開催する各団体に対し、開催等の経費を支援した。

(2) 世界に輝く「あわ文化」の創造

「ふるさと徳島」への誇りや郷土を愛する心を醸成するため、「阿波藍」「阿波おどり」「阿波人形浄瑠璃」「ベートーヴェン第九」の4大モチーフに代表される「あわ文化」に関する教育を充実するとともに、「あわ文化」の魅力を県内外に発信する「あわっ子文化大使」の育成や活躍の場を拡大した。

また、平成30年度開催の近畿高等学校総合文化祭徳島大会の成果をレガシーとして次代に継承するとともに、「あわ文化」の継承・発展に取り組む児童生徒の活動を支援した。

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
1 未知への挑戦！未来を創る教育の推進	18歳！新成人への学びプログラム事業	<p>主権者教育に関する高等学校及び特別支援学校高等部担当教員の指導力向上のための研修や、児童生徒に対しての政治参加への意識を高めるために、大学教員や選挙管理委員会、県教育委員会指導主事等による出前講座等の実施により、よりよい社会の構築に向けて主権者教育の一層の推進を図った。</p> <p>次代を担う高校生等の、持続可能な社会の実現に向けた取り組み成果を発表する「エシカル甲子園2020」では、予選審査を経て本選審査に進んだ10校が、エシカル消費の大切さを全国に向けて発信した。</p> <p style="text-align: right;">(9,826)</p>
	新次元の消費者教育推進事業	<p>自立した消費者の育成のために、多様な主体と連携・協働し、幼稚園・小学校・中学校・高等学校における発達段階に応じた消費者教育や、持続可能な社会の実現に向けた「エシカル消費」教育を推進した。</p> <p style="text-align: right;">(8,176)</p>
	特別支援学校「エシカルチャレンジ」事業	<p>特別支援学校の児童生徒が力を発揮して、エシカル消費の推進にチャレンジするとともに、地域等に広くアピールし、「エシカル消費」行動を推進した。</p> <p style="text-align: right;">(1,781)</p>
	人口減少社会に対応した小中一貫教育推進事業	<p>過疎・少子化の進行により小規模化が進む中、学校を存続させ、かつ教育の質を保障するために、「チェーンスクール」及び「パッケージスクール」という2つの学校教育のかたち（徳島モデル）を県下全域に周知し、普及・推進を図った。</p> <p style="text-align: right;">(4,051)</p>
	二地域居住を加速する「デュアルスクール」推進事業	<p>保護者の短期居住にあわせて、子どもの学校間の行き来を容易にし、地方と都市の双方で教育を展開することにより、多面的な視点に立った考え方ができる人材の育成を図るため、「二地域居住」や「地方移住」の促進にもつなげる「デュアルスクール」を推進した。</p> <p style="text-align: right;">(2,584)</p>

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
1 未知への挑戦！未来を創る教育の推進	ふるさと創生拠点ハイスクール推進事業	人口減少が急速に進む地域の高校において、その魅力化や活性化を通じて地域の新たな活力を創出するため、豊かな資源を活かした教育プログラムを展開し、県内外から生徒が集う学校づくりを進めた。また、県外からの入学生受入のため、新たな寮を整備した。 (9,928)
	高等学校の多様なニーズに応える遠隔教育推進事業	過疎・少子化の進行により小規模化が進む高校を多様な教育活動や魅力的な授業の展開により活性化するため、生徒の学習ニーズに対応した徳島ならではの遠隔授業の実施体制を構築し、そのノウハウを県内外へ発信した。 (1,746)
	教育関係ビッグデータ活用実証事業	児童生徒の学力や学習意欲、さらには教員の指導力等の総合的な教育力を向上させ、新しい未来を創造できる人材の育成に役立てるため、教育ビッグデータの分析・活用方法についての検証に取り組んだ。 (974)
	進化する教室イノベーション事業	ICTを活用した「わかる授業」の効果を普及するため、モデル校の普通教室に移動式常設電子黒板を設置し、全ての授業で既存タブレットと連携させた、生徒の理解を深める授業実践を推進した。 (32,347)
	第4次産業革命時代に活躍するためのプログラミング教育事業	第4次産業革命時代の未来社会に活躍できる人材を育成するため、小学校段階でのプログラミング教育の実施に向けて調査研究を行うとともに、実践的なプログラミング教育の実施に向けて教職員の指導力向上を図った。 (1,537)
	新学習指導要領に対応した教科情報指導者研修	新学習指導要領では全ての高等学校において「情報Ⅰ」が必修となっており、指導に当たる教員には、文部科学省から示された約48時間の研修を、校務に影響を与えることなく計画的に実施することが不可欠となるため、eラーニングを活用して効果的に実施した。 (1,426)

(単位：千円)

項目	事業名	事業内容及び成果
1 未知への挑戦！未来を創る教育の推進	学校・家庭「学びの力」向上支援事業	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休業期間中の児童生徒の在宅学習を支援するため、家庭学習応援動画「まなびのサポート」を作成し、徳島県YouTubeチャンネルで配信するとともに、インターネットを通じて動画を見ることが困難な家庭のために、普及率が高く県内のほぼ全域に共通チャンネルを持つケーブルテレビにより放送した。 (5,247)
	EdTechを活用した学びの場構築事業	ICTを活用して個に応じた学習環境を構築し、平時においては学力向上を図るとともに、有事の際にはオンライン教育やテレワークの実施など、災害にも強い学習環境を整備しシームレスに活用するため、モデル校において実証研究を行った。 (46,016)
	「GIGAスクール構想」加速化事業	全ての県立学校でオンライン教育を実施できる環境を整備するために、電子黒板等の整備を行った。 また、県立学校の義務教育段階における1人1台端末を整備するとともに、急速に変容する教育現場を支援する「GIGAスクールサポーター」を配置した。 (84,630)
	子供の学びを支え深化させるEdTech活用推進事業	Society5.0で活躍する人材を育成するため、平時・有事を問わず学校に整備されている様々な環境と新たに整備する環境等を活用し、教科指導の効率化、児童生徒の学習意欲向上などについて実践的な研究を行い、県立学校におけるモデル事業との相乗効果により「徳島県GIGAスクール構想」を推進した。 (17,963)
	Tokushima 英語村プロジェクト エンジョイ！コミュニケーション事業	小・中・高等学校を通じて英語でコミュニケーションを図ろうとする態度や能力の育成を図るとともに、広く世界に目を向け、国際協調の精神を育むため、小・中・高校生を対象に英語をベースに外国人と交流する取り組みを実施した。令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各事業とも時期を秋以降へずらし、宿泊を中止したり回数を減じたりして実施した。 (5,057)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
1 未知への挑戦！未来を創る教育の推進	世界スタンダード英語4技能育成事業	英語4技能育成を目的に、中学校2年生を対象として、CAN-DOリストに沿った授業実践を行い、客観的な指標による4技能型のテスト（英検I B A R L W S）を実施した。結果から、生徒の英語力把握と指導のP D C Aサイクル促進がすすみ、成果を県内全中学校に共有した。 (3,609)
	とくしま英語教育イノベーション研修事業	県内全ての児童生徒の英語力を世界スタンダードへと育てるため、小学校・中学校・高等学校教員の指導力・英語力向上を図る研修等を実施した。 (171)
	新未来創造・高校生育成プロジェクト	高等学校での「探究」活動を中心とした「深い学び」の実現によって、将来、持続可能な社会の作り手として各分野を牽引していく人材を育成するため、ネクスト・リーダー育成プログラムでは、高校生サミットなど、学校の枠を超えて切磋琢磨する機会を設けるとともに、サイエンス・スペシャリスト育成プログラムでは、ハイレベルサイエンス講習会など、将来世界レベルの研究に取り組む科学者の育成を目指して事業を推進した。 (4,760)
2 夢と志を実現！確かな学びを育む教育の推進	6次産業化実践教育ステップアップ事業	「6次産業化をプロデュースする人材」を育成するため、農林水産業教育、工業教育、商業教育を行っている高校による、生徒間協働活動に加え、産業界との連携により、「徳島ならではの」商品開発を目指し、より実践的な6次産業化に対応した教育を展開した。 (606)
	高大・地域連携キャンパス実践展開事業	地方創生の原動力となる人材を育成するため、高大連携や地域・民間連携の拠点となる阿南光高校新野キャンパスにおいて、徳島大学との高大接続教育や産業界と連携した研究開発に取り組んだ。 (950)
	ふるさと協働による高校教育の質の向上・充実化事業	各学校における地域との連携・協働等を促すため、地元企業等の地域の方が参画した「ふるさと協働実施委員会」を高校に設置し、その助言・協力を得て、高校教育の質の向上・魅力化に地域とともに取り組んだ。 (3,756)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
2 夢と志を実現！確かな学びを育む教育の推進	徳島「未来の学び」創造プロジェクト	新しい学習指導要領において示された学力の向上のためのPDCAサイクルを確立し、全国学力・学習状況調査や本県独自の学力・学習状況調査等で明らかになった課題の克服を行うため、授業改善等の研究実践の推進校を設定し、大学等の専門的知見・技術を生かした教員の指導力向上及び学校の教育力向上のため継続的な指導・助言・支援を行うとともに、その成果を計画的に県下の学校に普及した。 (2,645)
	スーパーオンリーワンハイスクール事業	高校生自らが地域の課題解決に向けた活動を通じて、魅力ある学校づくりや地域を活性化させることを目的とし、実施校の取組みを支援するとともに、生徒活動発表会の開催や発表要旨集を発刊して、その成果を広報した。 (6,522)
	未来へつなぐ「キャリア教育」推進プロジェクト	児童生徒のしっかりとした勤労観や職業観を確立し、社会で活躍できる人材の育成を図るため、家庭や地域、経済団体等と連携し、起業体験活動、中学生への専門高校PRイベントや徳島で活躍する企業を見学するバスツアーの開催等、多様なキャリアパス実現のための事業を行った。 (5,663)
	発達障がい「つながる・ひろがる・はばたく」充実事業	発達障がいのある児童生徒等への切れ目ない支援のため、本県独自の「ポジティブな行動支援」の拡充を図るとともに、肢体不自由者の新たな就労モデルを構築するために、テレワーク体験機器等を活用し、就業体験を実施した。 (6,387)
	幼児教育推進体制構築事業	「全ての幼児に提供される質の高い幼児教育」を目指し「徳島県幼児教育振興アクションプランⅡ」をより実効性のあるものとして推進するために、幼児教育の更なる振興・充実を図るための総合的な基本計画として策定した「徳島県幼児教育振興アクションプランⅢ(令和2年3月)」の周知・理解促進を図るとともに、訪問指導の充実や保幼小連携・接続の普及、大学との連携を推進した。 (2,368)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
2 夢と志を実現！確かな学びを育む教育の推進	阿波っ子“愛♡藍”ネットワーク事業	<p>不登校、いじめや暴力行為などの児童生徒の問題行動等の未然防止や早期発見のために、スクールカウンセラーを各学校等に配置した。また、スクールソーシャルワーカーを市町村教育委員会に配置するとともに、学校問題解決支援チーム派遣として、より高度で専門的な知識を有するスクールプロフェッサー（医師、臨床心理士、社会福祉士等）を学校等に派遣したり、スクールロイヤー活用事業として法律の専門家である弁護士が学校をサポートしたりするなど、教育相談体制の充実を図った。</p> <p>(119,332)</p>
	いのちを守る子どもサポート事業	<p>将来にわたり自他の生命を守ることができる児童生徒を育成するため、専門的知見を有する外部人材を活用した「いのちを守る講師派遣事業」や大学と連携した「徳島版予防教育」を実施した。また、困難やストレスに直面した児童生徒が、一人で抱え込むことがないように、教職員に対し命の門番としての適切な対応力やSOSの出し方に関する教育等の指導力の向上を図るために、保健福祉政策課と連携し、「ゲートキーパー養成のための研修資料」を作成・配付し、校内研修等での活用を図った。</p> <p>(1,795)</p>
	道徳教育総合支援事業	<p>学習指導要領を踏まえて道徳教育の抜本的改善・充実を図るため、地域に根ざした創意工夫ある道徳教育の取組みに対して支援を行うとともに、道徳教育に係る指導内容・方法等の周知を図った。</p> <p>(375)</p>
	地域と学校の連携・協働強化事業	<p>幅広い地域住民等の参画による学校の支援体制である地域学校協働本部の活動を推進した。また、放課後や週末等の子供たちの安全な居場所を確保し、学習、スポーツ、芸術、交流などの活動を行う放課後子供教室の実施に対して、支援等を行った。</p> <p>(37,877)</p>
	ひろがる読書推進事業	<p>「図書館サポーター養成講座」を開設し、学校図書館運営の知識とスキルを習得する講座を実施した。また、子ども食堂内に寄贈本を配置する「街角ライブラリー」を設置した。</p> <p>(1,987)</p>

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
2 夢と志を実現！確かな学びを育む教育の推進	体力アップ！サンライズ事業	運動習慣の確立や望ましい生活習慣を形成し、体力向上に向けた県民への啓発活動を行うことで、子供の体力・運動能力の向上を図るため、ICTを活用したランキングシステムによる「NEW キッズ&ジュニアわんぱくランキング」を実施した。 (2,038)
	元気なあわっ子！応援事業	本県の子供たちの特徴的な健康課題である「肥満予防」「生活習慣の改善」を図るため、全ての公立学校で「生活習慣改善プロジェクト」を作成し、各学校の実情にあった取組みを推進した。 また、専門家を派遣し、学校、家庭、地域が連携して児童生徒の健康課題を解決するための体制づくりと取組みの支援及び専門家と連携しての研修会等を実施した。 (55)
	「ふるさとの味」食育支援事業	子供の望ましい食習慣の確立や子供を中核にした学校・家庭・地域の連携、学校給食における地産地消の推進に向けた取組みを中心に、「ふるさと徳島」に根を下ろした食育を推進するため、検討委員会を開催した。 (46)
	「学校給食食材」供給体制支援事業	臨時休業に伴い、学校給食納入業者が抱える食材について、食品ロス、地域経済活性化、SDGs等の観点から、学校給食以外への有効活用を促進するとともに、食の安全・安心を支える学校給食の供給体制の維持を図るため、支援事業を実施した。 (15,794)
3 一人ひとりが輝く！多様性を育む教育の推進	特別支援学校「みんなが主役」きらめき事業	特別支援学校の児童生徒一人一人が「主役」となり、将来にわたって地域で活躍できる力を身につけるため、スポーツ活動や文化的活動に取り組んだ。 また、職業スキルを活かし、四国霊場札所でのお接待活動等を実施した。 (3,786)
	障がい者の生涯学習支援事業	県立総合大学校「まなびーあ徳島」に「障がい者の学びコース」を開設し、県立障がい者交流プラザにおいてスポーツや文化・芸術、生涯学習等に関する講座を実施した。 (1,206)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
3 一人ひとりが 輝く！多様性を育 む教育の推進	特別支援教育パワーアップ事業	<p>教員のキャリアステージや目的・ニーズに応じた研修会を設定し、特別支援教育の理解・啓発や実践的指導力の向上を図った。また、幼稚園、小・中・高等学校に対する巡回相談員による指導を行った。</p> <p>(757)</p>
	多様性を認め合う人権教育支援事業	<p>学校の性的マイノリティに関する研修や相談等の要請に応じて専門スタッフ等を派遣し、学校の支援を行うとともに、性の多様性への理解を促進するためのシンポジウムを実施した。また、喫緊の人権課題や部落差別解消推進法に対応した人権教育を充実させるため、教員の人権教育に関する意識調査を行った。さらに、要請訪問や学校訪問等を通じて、人権尊重の理念に対する理解を深め、多様性を認め合う人権教育を推進するための教員のスキルアップを図った。</p> <p>(908)</p>
	人権教育指導研修費	<p>文科省指定の小・中学校に加え、県指定として幼稚園・高等学校等において、人権尊重の精神の涵養を図るための学校教育の在り方についての実践的な研究を実施した。</p> <p>また、県内の中学校・高等学校等の生徒が交流し、人権意識の高揚を図り、様々な人権問題を解決する実践力を身に付けた生徒を育てることを目的に「中・高生による人権交流事業」を実施した。</p> <p>8年次対象の指導力充実講座は、感染症拡大防止のため現地研修を中止し、代替としてレポート提出に変更した。また、各校種の人権教育主事を対象として、資質の向上を図る研修を実施した。</p> <p>(1,530)</p>
	「徳島県人権教育推進方針」 充実事業	<p>「徳島県人権教育推進方針」に基づき、人権尊重の理念に対する理解を深め、すべての人の人権が尊重される社会づくりをめざした総合的な視野に立った人権教育の推進を図るため、PTAや社会教育での研修会をはじめ、多くの場で活用できる「社会教育における人権教育資料」を作成した。</p> <p>(207)</p>

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
3 一人ひとりが輝く！多様性を育む教育の推進	児童生徒の心のサポート体制づくり推進事業	心の問題を抱えた子供やその家族に対して、専門家や臨床心理学を学ぶ大学院生等による個別の支援を行うことにより、情緒の安定、基本的な生活習慣の改善、集団生活への適応等、児童生徒の自立や社会適応を側面的に援助するとともに、家族を含めた支援体制の充実を図った。 また、夜間・休日を含めて24時間いつでも、子供のSOS全般に対応可能な相談体制を整備し、緊急時対応の強化を行った。 (6,341)
	阿波っ子すこやか「いのちと心はぐくみ」プロジェクト	いじめや不登校、自殺、児童虐待等、児童生徒の生徒指導上の諸課題の未然防止や早期発見・早期対応のために、児童生徒の問題解決に向けた実践力の育成を目指した「いじめ防止子ども委員会」の設置や「全国いじめ問題子供サミット」への参加、人権尊重の精神の涵養に資する「いのちに関する作品募集」等を行った。 (984)
	SNS活用「生徒の心の相談」実証事業	いじめ問題をはじめとする様々な悩みを抱える生徒に対して、SNSを活用した相談窓口を開設することで、相談に係る選択肢の多様化を図り、生徒が抱える悩みに向き合い、問題の深刻化を未然に防止するとともに、より有効な教育相談体制の構築に努めた。 (22,960)
	帰国・外国人児童生徒“いきいき”事業	要望があった学校へ日本語講師を派遣し、日本語指導が必要な児童生徒への効果的な日本語教育を行った。また、日本語講師や教職員に指導のノウハウを教える研修を行った。 (4,723)
4 誰もがいきいき！生涯を通じ、安心して学ぶ教育の推進	とくしま家庭教育支援推進事業	ファシリテーターのステップアップ研修を実施し、ファシリテーションに関する技術力や家庭教育支援に関する知識の更新を図った。また、保護者向け及び中高生・次世代向けワークショップを実施した。 (779)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
4 誰もがいきいき！生涯を通じ、安心して学ぶ教育の推進	「社会教育プラットフォーム」創出事業	「社会教育人材養成講習会」を開催し、県内の社会教育関係者の情報の共有化及び参加者のスキルアップを図った。 (212)
	県立夜間中学校開校準備事業	令和3年4月「徳島県立しらさぎ中学校」の開校に向け、生徒募集や広報、入学説明会・相談会の開催などを展開した。また、「中学校夜間学級協議会」において各市町村や関係機関との連携を図り、入学者への支援の在り方等について協議した。 さらに、徳島中央高校敷地内の産業教育実習棟を夜間中学の施設として改修するとともに、教育に必要な備品などの環境整備を行った。 (198,244)
	実践的防災・安全教育総合推進事業	学校における安全教育の充実と推進を図るため、国費事業（学校安全総合支援事業、学校安全教室推進事業）を活用し、災害安全、交通安全、生活安全に関する実践研究・研修に取り組んだ。 (3,589)
	チャレンジ防災人材育成推進事業	小学校高学年を対象にした防災学習プログラム「あわっ子防災チャレンジ」を推進し、発達段階に応じた実践的な防災教育の充実を図った。地域防災の担い手となる人材を計画的に育成するため、「学校防災人材育成講座」を開催し、「中高校生防災士」を養成するとともに、学校防災の要であり防災教育に係る指導的立場を担う「教員防災士」を養成した。 (4,126)
	ふるさと大好き！地域防災推進事業	全ての高等学校に「防災クラブ」を設置し、中学校にも設置を広げ、地域と連携した防災ボランティア活動等に取り組むなど、将来の防災の担い手の育成を図った。 (2,621)
	県立学校施設長寿命化推進事業	長寿命化計画に基づき、老朽化している建物を改修し、児童生徒が、安全・安心に学ぶことのできる教育環境の整備を行った。 (1,163,211)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
4 誰もがいきいき！生涯を通じ、安心して学ぶ教育の推進	高校施設耐震診断・改修事業	阿南工業高校と新野高校の再編統合において、生徒の安全・安心を確保するため、耐震改修と内部改修の一体整備を行った。 (221, 319)
	県立学校避難所施設強化・充実事業	県立学校を中核的な避難所と位置づけ、避難所としての機能強化を図るため、必要な整備を行った。 (5, 299)
	県立学校体育館「快適避難所空調設置モデル」事業	避難所となる体育館の夏場の高温対策のため、空調設備の整備を行った。 (48, 921)
	学校における感染症対策事業	公立幼稚園における新型コロナウイルス感染症対策の強化を図るため、設置者である市町が行う保健衛生用品や感染防止用の備品の購入など、感染症対策を徹底するために必要な経費について補助を行った。 また、県立学校において、基本的な感染症対策の徹底を図るため、必要となるマスク・消毒液・非接触型体温計等保健衛生用品を購入した。 (55, 876)
	快適な学習環境整備事業	新型コロナウイルス感染症拡大による長期休業に伴う「学習の遅れ」への対応として、夏季休業を大幅に短縮し授業数を確保するに当たり、生徒の体調管理に万全を期すため、空調未設置であった普通教室への空調設置と、県内全ての県立学校を対象に可搬式空調機器の緊急整備を行った。 (43, 823)
	学校再開に伴う感染症対策・学習保障等支援事業	新型コロナウイルス感染症の感染リスクを最小限にしながら県立学校を再開し、十分な教育活動を継続するため、感染症対策を徹底しながら児童生徒の学びの保障をする環境整備を行った。 (116, 825)
	新しい時代を切り拓く教員育成事業	教職生活全体を通して、効果的・継続的に学び続け、自己を高める教職員を支える多様な研修講座を総合教育センターを中心に実施し、教育力の向上を図った。 (2, 216)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
4 誰もがいきいき！生涯を通じ、安心して学ぶ教育の推進	教職員研修事業	「とくしま教員育成指標」を踏まえ、研修体系を構築した「とくしま教職員研修計画」を作成し、計画に基づき研修及び協議会を実施した。さらに、初任者研修における校内研修の指導員等を各校に派遣し、効率的・効果的な研修を推進した。 (961)
	教職員職場復帰支援事業	職場復帰した教員のメンタル不調再発防止のため、復帰後のフォローアップとして、定期的に復帰者の在籍校へ臨床心理士を派遣し、本人及び管理職等に対して専門的な知見に基づく助言・指導を実施した。 (179)
	学校業務支援システム構築・運営事業	学校業務支援システムの細部を決定するため、各市町村を代表する教職員等で構成するワーキンググループにおいて、協議を進めながら、システムの構築を完了した。 (15,400)
	スクール・サポート・スタッフ配置促進事業	教員の事務作業等の負担を軽減し、本来の教育活動に専念できる環境を整えるため、小中学校にスクール・サポート・スタッフを配置し、学校現場の教育体制の充実に取り組んだ。 (8,547)
	部活動指導員配置促進事業	学校の働き方改革の一環として、部活動における教員の負担軽減と質的な向上を図るため、中学校に部活動指導員を配置した。 (10,562)
	高等学校におけるコミュニティ・スクール推進事業	各高等学校を地域の将来を担う人材育成の拠点とするため、地域との連携を進めている県立高校において、「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」の導入に向けた取り組みを支援した。 (588)

(単位：千円)

項目	事業名	事業内容及び成果
4 誰もがいきいき！生涯を通じ、安心して学ぶ教育の推進	学びの保障のための学校教育活動支援事業	一人一人の学習定着度に応じたきめ細かな指導を図るための授業準備の補助やTT（ティーム・ティーチング）指導、放課後等を活用した補習授業、オンライン授業や会議の際のICT機器活用補助等を行うための学習指導員（学びサポーター）を配置した。 また、臨時休業中の未指導分の授業を行うための非常勤講師の勤務時間数を追加で確保した。 (53,708)
5 世界へ飛躍！「徳島ならではの」文化・スポーツレガシーを創出する教育の推進	令和4年度全国高等学校総合体育大会推進事業	令和4年度に四国ブロックで開催される全国高校総体を2年後に控え、徳島県実行委員会を設立するとともに、大会開催の準備を進めた。 (9,501)
	NEO 徳島トップスポーツ校強化事業	本県高校スポーツの競技力向上と普及・振興を図り、全国大会で入賞できる部活動を育成するため、強化指定校・育成指定校の2つのカテゴリーに分けて指定し、それぞれの特徴に応じた活動を支援した。 (14,073)
	渦潮スポーツアカデミー推進事業	未来のトップアスリートを徳島から発掘・育成・強化するため、鳴門渦潮高校をスポーツの拠点校として、県内アスリートの体力を科学的に測定・分析し、専門家のサポートを行ったほか、専攻実技8競技への強化費支援、部活動指導者へのスキルアップ研修等を実施した。 (6,315)
	中学校トップスポーツ競技育成事業	県中学校スポーツの競技力の向上と普及・振興を図り、全国大会で活躍できる競技者を育成するため、中学校体育連盟加盟競技専門部の中からトップスポーツ競技を指定し、中学校体育連盟及び専門競技部に支援した。 (3,379)
	あわスポーツ・ブルーミング戦略事業	長期的な展望に基づき、競技団体と連携し、選手の育成・強化を図るため、県高体連へのトップスポーツ校以外への強化費助成、県中体連への四国・全国総体への強化費助成、県小体連への実技講習会への助成を実施した。 (5,650)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
5 世界へ飛躍！ 「徳島ならではの」 の文化・スポーツ レガシーを創出す る教育の推進	オリンピック・パラリンピッ ク教育推進事業	オリパラ教育を推進するため、公立小・中学校、特別支援学校に学習テキ スト「オリンピック・パラリンピックと徳島」を作成、配付するとともに、 オリパラ教育推進校に対して講師を派遣しパラスポーツの体験やホストタウ ンとなった海外選手とのオンライン交流を実施した。 (1,694)
	部活動全国大会の代替大会開 催支援事業	運動部活動の全国大会等が中止となったことから、その代替となる地方大 会を開催する各団体に対し、開催や運営に要する経費を支援した。 (6,685)
	羽ばたけあわっ子！文化芸術 共創・発信事業	徳島の伝統文化を担い、誇りを持って県内外に発信し続ける「人財」を育 み、中学生の文化芸術発信力を高めるため、県内全公立中学校1・2年生を 対象とした「あわ文化検定」を実施するとともに、「あわっ子文化大使」の育 成を推進した。 (1,376)
	輝け高校生！文化芸術創造・ 発信事業	本県の文化力を全国に発信するため、平成27年に文化芸術リーディングハ イスクールに指定した名西高校を文化芸術教育の拠点校として育成するとと もに、城北高校人形会館を活用し、阿波人形浄瑠璃の伝承に取り組んだ。 (10,686)

Ⅲ 歳入歳出決算額

1 一般会計決算額

(1) 歳入決算額

(単位：円)

区 分	予算現額	調 定 額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予 算 現 額 と 収 入 済 額 と の 比 較
教 育 政 策 課	806,733,000	529,417,877	529,417,877	0	0	△ 277,315,123
コンプライアンス推進室	0	0	0	0	0	0
施 設 整 備 課	530,892,000	132,417,771	132,417,771	0	0	△ 398,474,229
教 育 創 生 課	99,453,000	88,700,237	88,700,237	0	0	△ 10,752,763
教 職 員 課	11,234,757,000	11,234,484,969	11,234,484,969	0	0	△ 272,031
福 利 厚 生 課	21,050,000	27,263,436	27,263,436	0	0	6,213,436
学 校 教 育 課	242,991,000	186,958,579	186,958,579	0	0	△ 56,032,421
グローバル・文化教育課	3,810,647,000	3,786,783,346	3,786,694,246	0	89,100	△ 23,952,754
特 別 支 援 教 育 課	94,257,000	83,036,319	83,036,319	0	0	△ 11,220,681
人 権 教 育 課	79,968,000	382,079,764	91,668,650	335,886	290,075,228	11,700,650
体 育 学 校 安 全 課	166,310,000	130,735,155	130,735,155	0	0	△ 35,574,845
生 涯 学 習 課	22,129,000	20,160,652	20,160,652	0	0	△ 1,968,348
計	17,109,187,000	16,602,038,105	16,311,537,891	335,886	290,164,328	△ 797,649,109

(2) 歳出決算額

(単位：円)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	予 算 現 額 と 支 出 済 額 の 比 較
教 育 政 策 課	2,897,016,000	2,437,179,391	179,022,165	280,814,444	459,836,609
コンプライアンス推進室	963,000	832,218	0	130,782	130,782
施 設 整 備 課	4,659,633,000	1,932,932,102	2,275,960,840	450,740,058	2,726,700,898
教 育 創 生 課	246,244,000	232,924,416	0	13,319,584	13,319,584
教 職 員 課	60,603,227,000	60,249,761,433	0	353,465,567	353,465,567
福 利 厚 生 課	8,898,474,000	8,692,253,784	0	206,220,216	206,220,216
学 校 教 育 課	587,867,000	499,149,799	26,033,375	62,683,826	88,717,201
グローバル・文化教育課	2,081,505,000	2,030,217,490	9,000,000	42,287,510	51,287,510
特 別 支 援 教 育 課	205,517,000	147,899,077	42,500,000	15,117,923	57,617,923
人 権 教 育 課	217,117,000	206,409,223	0	10,707,777	10,707,777
体 育 学 校 安 全 課	263,243,000	208,903,517	0	54,339,483	54,339,483
生 涯 学 習 課	140,659,000	133,016,074	0	7,642,926	7,642,926
計	80,801,465,000	76,771,478,524	2,532,516,380	1,497,470,096	4,029,986,476

2 特別会計決算額

(1) 歳入決算額

(単位：円)

区 分	会 計 名	予算現額	調 定 額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予 算 現 額 と 収 入 済 額 と の 比 較
グローバル・ 文化 教育 課	奨 学 金 貸 付 金 特 別 会 計	190,705,000	673,842,420	554,778,774	0	119,063,646	364,073,774
計		190,705,000	673,842,420	554,778,774	0	119,063,646	364,073,774

(2) 歳出決算額

(単位：円)

区 分	会 計 名	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不 用 額	予 算 現 額 と 支 出 済 額 と の 比 較
施 設 整 備 課	県 有 林 県 行 造 林 事 業 特 別 会 計	250,000	248,314	0	1,686	1,686
グローバル・ 文化 教育 課	奨 学 金 貸 付 金 特 別 会 計	190,705,000	187,373,779	0	3,331,221	3,331,221
計		190,955,000	187,622,093	0	3,332,907	3,332,907